

第2学年 生活科 学習指導案

鹿児島市立広木小学校 教諭 大園 百恵

1 単元名 「未来の広木計画」

2 単元の目標

- ・広木校区で初めて知ったことや広木地域の課題を友達に伝えることが出来るようにマップにまとめることが出来る。 (知識・技能)
- ・広木について、地域の方にゲストティーチャーとして、サポートをもらいながら、調べ課題を探し、解決方法を考えることができる。 (思考・判断・表現)
- ・広木小校区で暮らす人たちとともに、安心して暮らせるようにするためにはどのようにすればよいかという意識をもって地域の方とかわかり、地域についてまとめることが出来る。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本校の校区は、住宅や坂道が多く、山を切り崩して住宅街を作ったような地域である。

本単元「もっとなかよし町たんけん」では、校区内にある町のお店や施設に行き、インタビュー形式でお話を聞き、教えてもらったことから、友だちへ分かりやすく伝えられるようにまとめることを目標とした。

1年生までの生活科の学習で、地域の方にお越しいただき、広木の昔の町の様子や、生活の仕方などを教えていただきことができ、子どもたちも昔と今の広木校区を比べ自分たちも、地域の人の一員であることを実感することができた。また、学校以外でも地域の方々に温かく見守ってくださっているということを実感し、児童たちも安心して学習に取り組めると感じ、この学習を設定した。

また、地域の方も積極的にご協力くださり、児童たちをサポートする体制が整っている。学校と地域との距離も近く、日頃から温かく見守ってくださっているので児童たちも安心して取り組めると感じ、この学習を設定した。

(2) 児童観

また、一学期には、生活科の授業で「どきどくわくわく町たんけん」を行っている。自分たちの住んでいる町を探検し、校区にあるお店や病院などをまとめることができた。その学習を通して、自分たちの住んでいる校区には住宅が多く、自然が少ないということを体感した。本単元を通して、自分たちの校区のよさについて新しく発見することができるようにしたい。

(3) 指導観

単元の指導にあたって、自分の伝えたい広木の良さについて調べていく。地域の人との関わりを通して、自分たちの住んでいる地域の良さに気付かせたい。自分たちの力で広木マップを作り、完成させられたという達成感を味わうことで、地域の人とのつながりも大切にして生きていこうとする気持ちを高めることができると思う。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

相互性・・・地域の一員としてできることがあり、自分たちはいろいろな人に支えてもらっている。

責任性・・・グループの人と協力をし、自分の分担されたところを責任もって調べる。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

・地域の方々と交流し、昔と今の様子の違いなどを聴いたり、調べたことを共有することで多くの情報を得たり、地域に発信したりする。

・お互いの発表を聴き、いろいろな視点から地域を見ることができる。

他者と協力する態度

・地域のよさや昔のことを知るために、地域の方へのインタビューをして、他者と協力して探究する。

進んで参加する態度

・自分が地域の一員であることを自覚し、地域のよさやすばらしさをいろいろな視点でみることができる。

・本学習で変容を促すESDの価値観

・達成が期待されるSDGs

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 自分達の生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。 ② 地域の人々や様々な場所のよさや、地域の人々とかかわって生活すると楽しいことに気付いている。	① 地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考え、それらを表現している。 ② 地域の人々や様々な場所と工夫してかかわり、発見したことや体験したことを自分なりの方法で表現している。	① 地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。

5 単元の指導計画（全14時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価 備考
1	自分たちが知っている広木について話し合う。 ・学級で話し合う。 ・お家の人へインタビューをする。	・住宅の様子や店、施設の写真を提示する。 ・昔の広木校区の様子を聞いてみる。 ・校区の特徴を考える。	ア①
2	町たんけんに行く。	・住宅・店、施設などの場所をメモできるよう、予めワークシートを配布する。 ・メモだけではなく、写真としても記録を残せるよう、タブレットを準備する。 ・様々な方向・施設等に行けるよう、グループを分ける。 ・地域の方々にご協力をいただき、安全に町探検ができるよう、前もって計画などの詳細が書かれた資料を渡しに行く。	イ① イ② ウ①
3	地域の方にお話を聞く。 ・お店や施設の役割や、思いなどをインタビュー形式で聴く。 ・現在、困っていることや悩みなどを聴く。	・情報収集のために、地域の方々と連携を図る。	イ①
4	興味のあるジャンルで、課題解決活動をする。	・考えたいジャンル同士で集まりグループを作る。 ・インターネットや本、インタビューなど自分たちで方法を選んで調べる。 ・キャンパで、調べた情報をまとめ、クラスに共有する。	ア② ウ①
5	調べたことをもとに、未来の広木の町を作る。	・昔のことや、現在の課題を踏まえ、未来を予想しマップを作成する。 ・伝える相手がいることを踏まえた、まとめ活動ができるようにする。 （あおぞら会 みなさんに協力をしてもらおう。） ・模造紙にまとめ、全体で合わせる。	ア②